

<これまでの検討過程>

仙台市中小企業活性化会議
における議論

中小企業の活性化に向けた実態調査
(平成27年度：意識調査、平成28年度・事業承継)

仙台の中小企業の未来を考える
ワークショップ

<議論から生まれたポイント>

① 仙台の強みを活かした選択と集中

<活性化会議でのご意見>

- ・他の地域でできることを推進しても地域は活性化しない。仙台市ならではの特性を活かした企業への支援が必要。
- ・選択と集中によりトッププレイヤーを輩出していくべき。
- ・地域としてどういう企業を応援したいかを明確にすべき。
- ・地域に根差した企業にもITの種がある。地域ならではの視点から、技術開発を進めていくことも必要。

<ワークショップでのご意見>

- ・大手や首都圏の企業などとの差別化を図るには、地場のものを取り入れるなど、**地域特性を活かす**ことが必要。

② 雇用を生み出す企業の創出と支援

<活性化会議でのご意見>

- ・創業の増に留まらず、その質にも着目することが重要である。
- ・雇用を生んだり、利益を上げている企業を増やすという観点が必要。
- ・首都圏で力をつけた人材が、能力を発揮できる器（企業）を創っていく必要がある。
- ・地域に根差した経営を続ける既存企業の第二創業や、新事業に対する積極的な支援があっても良いのでは。

③ 中小企業の魅力の発信、人材定着・確保

<活性化会議でのご意見>

- ・行政側から企業の取組みなどを取り上げて、本市中小企業の魅力を市民に周知してもらえると認知度向上につながる。
- ・いかにU I J ターンにより仙台への人材の還流を作るか検討していくべき。

<ワークショップでの意見>

- ・地域中小企業の情報発信を様々なチャネルで行ってほしい
- ・大企業や中小企業といった規模ではない別の物差しで企業を見ることができるようにする。
- ・保護者向けの啓発が必要。

<意識調査>

- ・勤務先が仙台市である人の居住地満足度は高い。
- ・従業員規模50人以下の勤務先においては、仕事のやりがいや経営者・理念の魅力が高い。

④ 多様な人材の育成・活躍推進

<活性化会議でのご意見>

- ・働く女性の課題としてロールモデルが不足している。女性が主役になる場を与えていく必要がある。
- ・若年者だけでなく女性、障害者の雇用、就労者の育成支援を行うべき。

会議目標の達成に向けた平成29年度の主な取組み（案）

活性化会議目標① 新規開業率日本一に向けた取組み

① 仙台の強みを活かした選択と集中

【「学都仙台」の資源活用】

「学都仙台」の豊富な人材を活かした市内産業の振興につなげるため、様々な分野や段階に対応した人材育成を行うとともに、**中核企業への成長支援**を進めて行く。

【IT×〇〇連携の推進】

昨今IT企業の市内進出が加速していることから、IT産業と様々な分野における地域産業とのマッチングを促進し、IOT・ICTによる**地域課題の解決や製品・サービスの高付加価値化**による市内経済の活性化を図る。

例) IT×ヘルスケア産業、IT×農業、IT×卸小売業 etc

② 雇用を生み出す企業の創出と支援

【シード期の起業家に対する集中支援】

コンテスト等により選抜されたシード期（創業前準備期～起業直後）などの起業家を対象に、**ビジネスプラン作成やメンタリングなどの集中支援**を行うとともに、投資家や大企業等との連携を促し、急成長型ベンチャーや成長志向型起業家の輩出・育成を図る。

【起業家と大企業などのマッチングの場づくり】

大企業や支援機関等と起業家・既存中小企業の共創・交流の場の設定を通じて、**地域をあげて起業家や既存中小企業を応援する仕組みの構築**や地域課題の解決を図る。

【第二創業推進のための融資制度新設】

事業承継後の業態転換や新規分野への進出を支援し、事業承継・第二創業を促進させるための**第二創業支援融資制度**の創設を図る。

活性化会議目標② 中小企業の従業員数増加の持続に向けた取組み

③ 中小企業の魅力の発信、人材定着・確保

【様々なターゲットに対する中小企業の情報発信強化】

・地元中小企業の情報発信事業（WISE）を引き続き実施するとともに、これを活用した学生と企業（経営者・先輩社員）が接するイベントや大学における講義などを実施し、**中小企業の魅力ややりがい**を学生に対し発信していく。

・高校生の親子を対象にした、職業観に関するセミナーや地元企業経営者・若手社員による座談会を開催し、**社会人としての心構えや働くことの喜び、意義**を感じてもらうとともに、保護者には地元企業の魅力を認識してもらう。

・昨年度から実施しているUIJターン合同企業説明会、首都圏の大学へのプロモーション活動を継続しながら、仙台・宮城へのUIJターン就職の意識付けを図る。

【首都圏の起業人材移住促進】

仙台の起業のすそ野のさらなる拡大を図るため、首都圏等に在住する起業家及びUIJターン起業志望者等に対してトークイベント等による情報発信を行うとともに、首都圏の人材が仙台で起業・就職・チャレンジしやすくするための環境づくりを行う。

④ 多様な人材の育成・活躍推進

【多様な人材の活躍促進】

・女性管理職候補の育成を目的とした集中プログラム「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」や、女性活躍推進に関する社内研修への講師派遣等の各種コンテンツを含む「企業の未来プロジェクト」を引き続き実施していく。

・障害者を雇用しようとする企業と就労しようとする障害者のマッチングを行い、職場環境の調整や、それぞれに適した作業の提案などにより、障害者雇用と職場定着の推進を図る。次年度は、**企業訪問し潜在するシーズの掘り起しを行うジョブコーチ**の追加配置を検討する。



本資料に掲載している事業は、予算や実施内容について現在検討中のものを含んでいます。